

信誠編纂中

西中中世中

西修補存中

乃上春中

卯切少家多角之西之巢快之通全
而書之通被系修系有書之通全

之夕夕

即月年

西修補存中

西修補存中

西修補存中

西修補存中

西修補存中

一、修補法系、父体助系佛系而修補
二、修補法系、父体助系佛系而修補

十日

西修補存中

一、修補法系、父体助系佛系而修補

西修補存中

一 虎

一 虎

一 虎

一 虎

一 虎

一 虎

一 虎

一 虎

一 虎

一 虎

一 虎

一 虎

一 虎

一 虎

一 虎

一 虎

一 虎

一 虎

一 虎

一 虎

一 虎

一 虎

一 虎

修

一 修 子 刻 刻 刻 刻

一 修 子 刻 刻 刻 刻

一 修 子 刻 刻 刻 刻

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, appearing as ghostly characters.

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, appearing as ghostly characters.

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, appearing as ghostly characters.

十日

六三

一 修 子 刻 刻 刻 刻

一 修 子 刻 刻 刻 刻

一 坪井為重の遺言に於て

然るに其の遺言に於て

坪井為重の遺言に於て

一 友へ遺言に於て

坪井為重の遺言に於て

坪井為重の遺言に於て

坪井為重の遺言に於て

坪井為重の遺言に於て

坪井為重の遺言に於て

坪井為重の遺言に於て

坪井為重の遺言に於て

一 坪井為重の遺言に於て

坪井為重の遺言に於て

坪井為重の遺言に於て

坪井為重の遺言に於て

坪井為重の遺言に於て

坪井為重の遺言に於て

三友(中)古事記(中)古事記(中)古事記(中)古事記(中)

古事記

古事記(中)古事記(中)古事記(中)古事記(中)

古事記(中)古事記(中)古事記(中)古事記(中)

古事記(中)古事記(中)古事記(中)古事記(中)

古事記(中)古事記(中)古事記(中)古事記(中)

古事記

古事記

古事記(中)

古事記(中)

古事記(中)

古事記(中)

古事記(中)

古事記(中)

古事記(中)

古事記(中)

古事記(中)古事記(中)古事記(中)古事記(中)

古事記

古事記

古事記(中)古事記(中)古事記(中)古事記(中)

古事記(中)古事記(中)古事記(中)古事記(中)

由書物寄来。此物在る去跡
隊舞も舞うるもなまきり能く
改小 叶集あつしけ出定るる
きあふおの國中を け
ちしきるるかへんしおの
る

三首

和歌

後日夢を并ぶ事大難と者云々
と好 侍を及ばぬお大なる運

却て下らぬおとてしお大なる運
候 信物に

朝令古きよりけりお大なる運
お大なる運
お大なる運

お大なる運
お大なる運

お大なる運
お大なる運

。信守志中。以了。打。又。市。係。持。一。章。
思。之。

如。延。子。海。地。一。分。に。あ。り。し。も。
不。定。多。し。は。多。く。も。の。り。も。世。に。あ。り。し。も。
此。の。の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。
万。一。の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。
若。く。も。一。長。き。も。の。り。も。の。り。も。
如。延。子。の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。
や。れ。の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。
若。く。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。

報。正。の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。
の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。
人。の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。
言。は。れ。し。の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。
の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。
道。の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。
在。の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。
以。て。の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。
出。給。し。の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。の。り。も。

古子連方集下上信教年事
至正何為者() 年事如路
時能向() 年事

三月
甲列表人及路三月() 年事
加對 古事年事同路
知事年() 年事
故() 年事
以() 年事

古() 年事
古() 年事

古() 年事
古() 年事

古() 年事
古() 年事

古() 年事
古() 年事

あるはるか昔に
一歩の歩み
中々

十二

東京

一橋大学
明治

一 此書の味は昔と異なり、白濁の如く、
 功が平らな中、その味は苦みを含み、
 一 其の味は、昔より、昔より、昔より、
 李月、昔より、昔より、昔より、昔より、

一 昔より、昔より、昔より、昔より、昔より、
 一 在り、在り、在り、在り、在り、
 一 此書、昔より、昔より、昔より、昔より、

一 昔より、昔より、昔より、昔より、昔より、
 一 昔より、昔より、昔より、昔より、昔より、

一 昔より、昔より、昔より、昔より、昔より、

一 昔より、昔より、昔より、昔より、昔より、
 一 昔より、昔より、昔より、昔より、昔より、

一 大市子、昔より、昔より、昔より、昔より、昔より、
 一 西、昔より、昔より、昔より、昔より、昔より、
 一 一、昔より、昔より、昔より、昔より、昔より、
 一 西、昔より、昔より、昔より、昔より、昔より、
 一 昔より、昔より、昔より、昔より、昔より、昔より、
 一 昔より、昔より、昔より、昔より、昔より、昔より、
 一 昔より、昔より、昔より、昔より、昔より、昔より、

一 去年中の事は、
薩州大相少人数、
唐南木田米村、
代考、
出高、
治代、
有別、

一 然るに、
一 此の残、
白、

書

十三百

三馬

一 諸部

忠臣

一 諸部

一 諸部

一 諸部

一 諸部

一 諸部

一 諸部

一 諸部

一 諸部

一 諸部

一 諸部

一 諸部

一 諸部

一 諸部

一 諸部

一 諸部